

## H29. 7/18~20 志政会 行政視察報告

志政会（12名 寺田幹根会派長）では、2泊3日で鹿児島市・南九州市・始良市に、今後の磐田市市政に参考としたい先進事例を視察に行き参りました。いずれも「ここまでやっている！」と驚きと感銘を受けた取り組み・事業であり、大変有意義な視察となりました。

### 7/18（一日目）鹿児島県鹿児島市 — 人口 606,706人 議員数 50人 —



日曜日は親子約 1,000 人が訪れるという 1F の「ふれあいランド」

- ・ぼうけんの海（4才～小学3年生）
- ・げんきひろば（3～5才）
- ・ぴよぴよガーデン（0～2才）
- ・おはなしの森（全年令）

視察テーマ すこやか子育て交流館「愛称：りぼんかん」訪問

当施設は、子育て中の不安感や召担感を軽減するとともに、子育て家庭や団体等の活動をさまざまな角度からサポートする総合的支援の5階建て拠点施設です。

親子が気軽に集い、相互に交流する場を提供するとともに、育児談、子育てに関連する情報の発信や関係団体等との連携・情報の共有化を行い地域の子育て支援機能の充実を図っています。

生後2ヶ月から小学校就学前の子どもの一時的預りも行なっている

（1時間 500円）。



### 7/19（二日目）鹿児島県南九州市 — 人口 36,352人 議員数 20人 —



視察テーマ 「茶業振興について」

平成19年12月、3町が合併し南九州市誕生と同時に国内最大の茶産地となった。現在茶園3,451ha(牧之原市2,610ha、JA遠州中央800ha)、生産額101億円(牧之原市58億円、JA遠中19.3億円)。茶を取り巻く環境が、個人消費の落ち込みや生活様式の多様化に伴い厳しい状況にあるのは南九州市も変わらない。

- ・茶農家の内専業は40%、60%はキャベツや人参等野菜をつくっている。
- ・海外戦略を検討するに伴い、「知覧茶」ロゴマークを策定し市登録。
- ・平成29年全茶工場と面談、経営アンケート実施。
- ・安全・安心・信頼の産地づくり強化として農薬散布量削減機械導入。
- 有機栽培やエコフォーマー支援対応。



「知覧特攻平和会館」  
特攻戦死若者1036名  
父上様、母上様への遺書  
の手紙に涙・涙・・・。



### 7/20（三日目）鹿児島県始良市 — 人口 76,650人 議員数 24人 —



視察テーマ 「始良市の目指す教育の姿について」

平成22年3月、「始良町」「加治木町」「蒲生町」の3町合併より誕生、以来総人口が毎年増加している市。鹿児島市ベッドタウンとしての発展と同時に、強力な子育て教育にもその要因があると思料したものである。

県内で初の「始良市子育て基本条例」が平成25年3月制定されている。教育長の強力なリーダーシップの下で、1年間7回の会合を軸に策定。子育ては社会全体で取り組むことを明記し、家庭・学校・地域社会・事業市の役割と責任が明確になっている。①学力向上アクションプラン②モラリティ・インクルーブメント③地域が育むキャリア教育④スーパーサイエンス⑤その他の子育て支援の推進事業が明記されている。



”始良っ子の道徳性を育むために”  
として作られたカレンダーが、全戸配布されている。

(モラリティ・インクルーブメント事業一例)

